

足利学校の歴史



足利学校の創建については、奈良時代の国学の遺制説、平安時代の小野篁説、鎌倉時代の足利義兼説などがありますが、歴史が明らかになるのは、上杉憲実（室町時代）が、現在国宝に指定されている書籍等を寄進し、庠主（学長）制度を設けるなどして学校を再興したところからです。

鎌倉建長寺の住持、玉隠永瑛は、長亨元（1487）年の詩文の中で「足利の学校には諸國から学徒が集まり学問に励み、それに感化されて、野山に働く人々も漢詩を口ずさみつつ仕事にいそしみ、足利はまことに風雅の一都会である」と讚美しています。

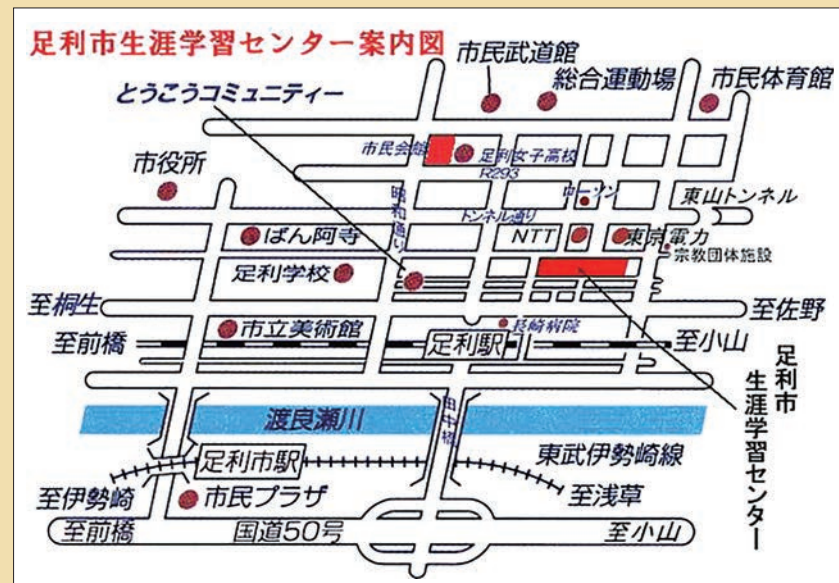
また天文18（1549）年には、フランシスコ・ザビエルにより「坂東の学院（アカデミア）あり。日本国中最も大にして最も有名なり。」とヨーロッパへ伝えられ、「学徒三千」といわれるほどになりました。

明治元（1868）年には、足利藩の藩校「求道館」が置かれ、明治5（1872）年に幕をおろしましたが、足利学校の精神は現在に引き継がれています。昭和57（1982）年に「史跡足利学校跡保存整備事業」に着手し、平成2（1990）年に江戸中期の姿に甦りました。そして、平成27（2015）年に「近世日本の教育遺産群-学ぶ心・礼節の本源-」として日本遺産に認定されました。

史跡足利学校・足利市生涯学習センターのご案内

交通機関

- | | | |
|----|---------|--------------------------|
| 電車 | 東武伊勢崎線 | 足利市駅から『生涯学習センター』まで徒歩約25分 |
| | JR両毛線 | 足利駅から『生涯学習センター』まで徒歩約10分 |
| | 東武伊勢崎線 | 足利市駅から『史跡足利学校』まで徒歩約15分 |
| | JR両毛線 | 足利駅から『史跡足利学校』まで徒歩約10分 |
| 車 | 東北自動車道 | 佐野藤岡ICから約40分 |
| | 北関東自動車道 | 足利ICから約15分 |
| | | 太田桐生ICから約20分 |
| | | 佐野田沼ICから約20分 |



日本最古の学校 国指定史跡足利学校

今よみがえる“坂東のアカデミア”

Academia in Bandou

2019年度

足利学校アカデミー
受講案内

足利学校は世界遺産登録を目指しています!

足利市教育委員会 史跡足利学校事務所



2019年度足利学校アカデミー受講案内

①日程と内容

回	演題・講師	期日	講義概要
1	演題 「自分」とは何か ——インド哲学と仏教から考える 武蔵野大学特任教授 丸井 浩 先生	6月22日 (土)	ウパニシャッドの哲人は、自己の本質は宇宙の本源と一体であると洞察しました。無我を説く仏教でも「自分」を見つめることが大切と考えます。このインド哲学と仏教の根本問題について、今日的な視点から考えたいと思います。
2	演題 杜甫の詩 (公財)斯文会理事長 石川 忠久 先生	6月23日 (日)	杜甫の有名な詩を味わう。
3	演題 「坂東の大学」にあこがれた宣教師たち ～ヨーロッパの学問を対等に対話できる相手としての評価を中心に～ イエズス会日本管区長 レンゾ・デ・ルカ 先生	6月29日 (土)	ザビエルの来日以前からキリスト教を深く理解する可能な相手として「坂東の大学」がヨーロッパに伝わった。宣教師たちは、日本の知識人と対話できればキリスト教が全国に広がると考えていた。現存する宣教師たちの史料とその真相について紹介したい。
4	演題 「業と宿業」をのりこえられる叡智を求めて 中村元記念館 東洋思想文化研究所副所長 釈 悟震 先生	6月30日 (日)	業と果報の関係は常に機械的な因果関係ではない。「自業自得」「業果の必然性」と言っても、それが現実の社会生活の場では常識的な業理論の通りにはゆかないものであろう。いや、心情的には、理論のままでは困る場合が有り得る。これらの諸現象を乗り換えられる叡智はあるだろうか。
5	演題 孔子と読書 —「韋編三絶」の真相— 大阪大学大学院文学研究科教授 湯浅 邦弘 先生	7月6日 (土)	孔子は晩年『易』を愛読したので「韋編三絶」したと伝えられています。その時代、本当に今のような『易』があったのでしょうか。またそもそも当時の本や読書とはどのようなものだったのか考えてみましょう。

②講義時間：午前 10 時 00 分～午後 0 時 00 分

③会 場：足利市生涯学習センター302 会議室

室町時代、宣教師フランシスコ・ザビエルが「坂東のアカデミア」として、ヨーロッパへと伝えた「日本最古の学校—国指定史跡足利学校」。生涯学習の時代、史跡足利学校では、教育の原点とも言えるその歴史を今に生かすため、現代に甦る足利学校として、平成9年から、著名な大学教授など各界を代表する先生方を講師としてお招きして「足利学校アカデミー」を開催しております。

本年度も日頃聞くことのできない著名な先生方の講演を通して、様々な視点から史跡足利学校の魅力・価値を知っていただける講座内容となっておりますので、ぜひお申し込みください。

○ 申込期間 2019年5月15日(水)から6月14日(金)まで
(但し、定員になり次第締切り)

※受付初日の2019年5月15日(水)は、
直接、史跡足利学校事務所へお越しください。

※2019年5月16日(木)から6月14日(金)までは電話受付可

○ 対象者・定員 高校生以上 各回90名

○ 受講料 1回 500円

○ 受講料納付方法 ①直接、申込書と併せて史跡足利学校事務所へ持参
②電話での申し込み後に下記A～Dの方法により納付

A 直接、史跡足利学校事務所へ持参

B 定額小為替

C 銀行からのお振込み

店 番 号 ○一九(ゼロイチキュウ)店(019)

預 金 種 目 当座

口 座 番 号 0608415

口 座 名 称 史跡足利学校(シセキアシカガガッコウ)

D 郵便局・郵便口座からのお振込み

口座記号番号 00170-2-608415

口 座 名 称 史跡足利学校(シセキアシカガガッコウ)

《申し込み・問い合わせ先》

史跡足利学校事務所 〒326-0813 栃木県足利市昌平町2338

TEL 0284-41-2655 FAX 0284-41-2082

E-mail gakkou@city.ashikaga.lg.jp

ホームページ <http://www.city.ashikaga.tochigi.jp/site/ashikagagakko/>

《講義会場》

足利市生涯学習センター

〒326-0052 足利市相生町1-1 Tel:0284-43-1311(代表)

駐車場は、無料 *裏面案内図をご参照ください。

.....コピーまたは切り取ってご使用ください.....

足利学校アカデミー申込書

納付	No.

氏 名 _____

住 所 _____ 〒 _____ TEL () _____

受講科目に○印をつけてください。

第1回 (6/22)	第2回 (6/23)	第3回 (6/29)	第4回 (6/30)	第5回 (7/6)
丸井 浩 先生	石川 忠久 先生	レンゾ・デルカ 先生	釈 悟震 先生	湯浅 邦弘 先生

上記、足利学校アカデミーに受講料 _____ 円 (_____ 回分) を添えて申し込みます。